

熱田綺譚



二十五丁橋

～熱田人の目で見えた熱田を歩く～

講座内容

熱田は太古の昔から開けたところで、熱田社は平成25年創祀1900年を迎えました。熱田台地(熱田半島)の先端部に位置し、古来、日本武尊、藤原師長、源頼朝、平景清、足利尊氏、楊貴妃、織田信長、豊臣秀吉、徳川家康、徳川義直、松尾芭蕉、笠亭仙果といった人々との関わりのある土地柄です。熱田生まれ熱田育ちの根っからの地元人の私が、熱田の地元人ならではの話をいたします。

講師 東海学園大学人文学部特任教授 安田文吉

日程(全4回) 水曜日・時間:10時40分～12時10分

月 日	講 座 内 容
2月21日	「熱田と楊貴妃と草薙の剣」 尾張氏の実力と草薙の剣(「古事記」「日本書紀」) 何故大和朝廷は尾張氏と婚姻という(征伐ではなくて)形をとったのか。 愛知県下最大古墳「鬮峯山(断夫山)」 鬮峯山(断夫山)の名称はどこから来たのか。 楊貴妃は熱田大明神(「長恨歌抄」) 何故熱田大明神は楊貴妃となったのか。
2月28日	「神宮境内再発見」 上知我麻神社 源太夫社 八剣宮 南新宮社 清雪門 二十五丁橋 大楠 信長塚 西楽所 ならずの梅 土用殿 清水社 一之御前神社 本宮 祈祷殿(車祓い) 龍影閣 菅原社
3月7日	「神宮を取りまく伝承」 源頼朝生誕の地(誓願寺) 亀井山園福寺 道標 源太夫社 景清社 波止場(七里に渡し場)
3月14日	現地探訪 ※現地集合 熱田は中世以来、門前町・宿場町・湊町・漁師町として栄え、幕末の天保14年の「東海道宿村大概帳」に依れば旅籠は248軒、人口10342人で、旅籠は東海道一位、人口は 伏見・大津に次いで3位。旅籠の多さは東海道随一の交通の要衝だったことを示しています。現地を探訪しながら、熱田のディープを見て回りましょう。

開催場所	東海学園大学名古屋キャンパス(名古屋市天白区中平2-901)
募集人数	20名 ※先着順
受講料	500円(全4回分) ※初回徴収
申込方法	下記必要事項をメールまたはFAXにてお申込みください

【お問い合わせ先】 東海学園大学地域連携推進室

〈TEL〉052-801-1273 〈FAX〉052-801-1292

〈メールアドレス〉 ext@tokaigakuen-u.ac.jp

----- きりとり -----

東海学園大学公開講座 〈現地を訪ねるシリーズ第五弾〉熱田綺譚

氏 名	年 齢	電 話 番 号
フリガナ		
住 所		
〒		